

# がんばるぞー通信

発行編集責任者

横浜市栄区中野町7-3 石渡ゆきお

政務活動事務所

平成31年3月特別号  
第33号



## ハマ弁 主要課題の現状と対応策(その1)

横浜市の公立中学校における昼食のあり方については、約5年前から本格的に議会で議論されてきました。

中学校で給食を提供する方法は各自治体によっても違いがありますが、大きく分けて以下の通りです。

それぞれにメリット、デメリットがあり、それらを総合的に判断して平成29年1月から全中学校でデリバリー方式（配達）のいわゆる「ハマ弁」を実施しています。

現在では、ご家庭のライフスタイルや日々の都合に合わせて、ハマ弁、家庭弁当、業者弁当 を組み合わせて利用できる選択制としています。

| 名称      | 実施方法          | 実現可能性<br>(喫食率を100%と想定)     | 栄養<br>バランス | 温かさ | 施設整備費<br>(推計値)   |
|---------|---------------|----------------------------|------------|-----|------------------|
| デリバリー方式 | 業者が弁当を作り、配達   | 全校で実施可能                    | ○          | ○   | 約30億円            |
| 親子方式    | 近隣の小学校で調理し、配達 | 小中学校の組み合わせでは約4分の3の中学で実施が困難 | ○          | ○   | 約60億円            |
| 自校調理方式  | 校内に調理施設を設置    | 施設の制約から半数以上の中学校で実施が困難      | ○          | ◎   | 約260億円           |
| センター方式  | 複数校分を調理し、配達   | 建設用地の確保が困難                 | ○          | ○   | 約330億円<br>(18か所) |

### ハマ弁の現状と課題

全校実施から約2年が経過した「ハマ弁」ですが、現状以下の課題があります。

- 喫食率（注文数）が低い（昨年12月時点で2.6%）
- 当日注文、当日キャンセルができない。
- 味が薄い、おかずが少ない、冷めている。また、昼休み時間が短く弁当を取りに行く時間がないなど、昼食の喫食時間の課題も。
- 当日注文のモデル実施においては、予定数以上の弁当を調理するため、廃棄処分（食品ロス）が発生する。  
(現在は約1割に改善されている)



ハマ弁は、ごはん・おかず、汁物、牛乳で340円！

### 石渡ゆきおが主張する課題への対応策

課題解決のため、今後は以下の対策が必要です。

- 当面は、簡易注文システムの導入、温かい弁当の提供や生徒が喜ぶ味付けメニューの提供など。
- 事業者との契約期間を見据えながら、次の4年間であらゆる方式を視野に入れた公立中学校の完全給食を目指します。